

日本医史学会役員氏名(五十音順)

|       |              |
|-------|--------------|
| 理事 長  | 大島蘭三郎        |
| 常任理事  | 大塚 恭男(第八十八回) |
| 宗田    | 大塚 恭男        |
| 宗田    | 酒井 シヅ        |
| 會計監事  | 関根 正雄        |
| 理事    | 三輪 卓爾        |
| 石原    | 力 大滝 紀雄      |
| 大島蘭三郎 | 緒方 富雄        |
| 蒲原    | 宏 蔵方 宏昌      |
| 酒井    | 恒 杉田 暉道      |
| 宗田    | 一 長門谷洋治      |
| 藤野恒三郎 | 古川 明         |
| 谷津    | 三雄 矢部 一郎     |
| 幹事    | 大村 敏郎        |
| 大村    | 敏郎 蔵方 宏昌     |
| 矢部    | 一郎 深瀬 泰旦     |
| 評議員   | 青木 允夫        |
| 石田    | 純郎 赤堀 昭      |
| 江川    | 義雄 今市 正義     |
| 岡田    | 博 岡田 大島 智夫   |
| 片桐    | 一男 岡田 靖雄     |
| 川島    | 恂二 加藤 四郎     |
| 神原悠紀田 | 末中 哲夫        |
| 高木圭二郎 | 田代 逸郎        |
| 田中助一  | 津田 進三        |
| 土屋 重朗 | 寺畑 喜朔        |
|       | 安藝 基雄        |
|       | 岩治 勇一        |
|       | 大村 敏郎        |
|       | 奥村 武         |
|       | 加藤 豊明        |
|       | 小曾戸 洋        |
|       | 関根 正雄        |
|       | 立川 昭二        |
|       | 筒井 正弘        |
|       | 米造           |

|       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 中沢 修  | 西川 瀨八 | 服部 敏良 | 中山 康夫 |
| 樋口誠太郎 | 深瀬 泰旦 | 原田 義一 |       |
| 本間 邦則 | 丸山 博  | 松木 明知 |       |
| 三浦 豊彦 | 三輪 卓爾 | 室賀 昭三 |       |
| 森 納   | 守屋 正  | 矢数 圭堂 |       |
| 安井 広  | 山下 喜明 | 山田 光胤 |       |
| 山中 太木 | 山本 俊一 | 米田 正治 |       |
| 渡辺左武郎 |       |       |       |

(理事の名は省略)

編集後記

第八十八回日本医史学会総会も盛会裏に終った。一般口演は誌上発表を含めて四十三題もあり、発表時間が足りないほどの盛況である。しかし本誌への投稿は少ない▲レフリー制度があるので投稿を敬遠しているとの声もあるが、より良い論文を載せた、より良い学会誌を作りたいと思うと、レフリー制度は必要である。投稿論文はなるべく掲載する方針であるが、本誌が医史学の学術雑誌であるという建前がある限り原著は論文としての体裁が整っていないければならない。編集委員としていつも悩むのは、原著として載せるのに不適當であると判断

した場合である。そのような時はレフリーの意見を付けて書き直してもらい再提出をお願いしている▲内容によっては「研究ノート」や「広場」に載せてもらっているが、このコーナーはもっと活用すべきと思う。特に「広場」は論文になりにくいもの、論文のように硬苦しくなく気楽に書きたいと思う時にぜひ利用していただきたい▲今回は書評と新刊紹介が二十篇になったが、宣伝されず目に触れることも少ない本が多いのでありがたい情報である。会員諸氏の書評や新刊紹介の投稿も期待している。

(蔵方宏昌)

昭和六十二年四月二十五日 印刷  
昭和六十二年四月三十日 発行

第三十三卷第二号

編集者代表 大島 蘭 三郎  
発行者 日本医史学会  
代表 大島蘭三郎

〒二三 東京都文京区本郷 二二一

順天堂大学医学部 医史学研究室内

印刷所 三報社印刷株式会社  
〒二二 東京都江東区亀戸